

都市再生整備計画(第1回変更)

ふじのみやえきしゅうへんちく
富士宮駅周辺地区

しずおかけん ふじのみやし
静岡県 富士宮市

平成27年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|---------------------|------|---------------------|-----|----------|----|--------|
| 都道府県名 | 静岡県 | 市町村名 | 富士宮市 | 地区名 | 富士宮駅周辺地区 | 面積 | 276 ha |
| 計画期間 | 平成 26 年度 ~ 平成 28 年度 | 交付期間 | 平成 26 年度 ~ 平成 28 年度 | | | | |

目標

【世界文化遺産富士山の門前町の歴史と文化を活かした歩いて楽しいまちづくり】

- ・中心市街地の拠点である浅間大社等の周辺の道路整備・景観整備を行う事で、潤いのある歩行者空間をネットワーク化することにより、歩いて楽しいまちを創出する。
- ・世界文化遺産である「富士山」への玄関口であり、構成資産である「富士山本宮浅間大社」の門前町にふさわしい歴史と文化を活かしたまちを創出する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・富士宮市の中心市街地は、古くから多くの富士登山者が参拝する「富士山本宮浅間大社」の門前町として栄えてきた。
- ・浅間大社は、富士山頂を始めとして全国に1,300余ある浅間神社の総本宮であり、武田信玄や徳川家康に庇護されてきた1200年以上の歴史がある神社である。現在は、世界文化遺産「富士山」の構成資産としても登録されている。
- ・富士宮駅周辺地区においては、平成16年度からまちづくり交付金を活用しており、これまでに下記事業を実施し中心市街地の活性化を図っている。
 - ①中心市街地の景観整備(商店街の景観整備、都市計画道路の街路灯整備)
 - ②中心市街地の歩行者の安全性確保(都市計画道路阿幸地青見線、大宮町21号線、大宮町22号線、宮町10号線)
 - ③中心市街地へのにぎわい創出・公共施設の集約(市立大宮保育園建設事業、療育支援センター建設事業、駅前交流センター建設事業、観光交流処建設事業)
 - ④中心市街地への観光客誘導(せせらぎ広場建設事業、市営駐車場整備事業)
- ・上記の事業に加え、関連事業として県道の拡幅事業やJR身延線の立体交差化事業、富士宮駅周辺のバリアフリー化事業が実施された。それにより、安全安心な歩行者空間の整備、鉄道により分断された中心市街地の一体化、自動車交通の円滑化が進められた。
- ・また、JR西富士宮駅においてもバリアフリー化事業が始まり、中心市街地の安全安心な歩行者空間の整備が進められている。
- ・平成19年6月に「富士宮やきそば」が、B-1グランプリで2連覇したため、B級グルメとして「富士宮やきそば」が有名になり、富士宮市への集客に大きな貢献をしている。
- ・以上の事業の効果により、中心市街地を訪れる観光客は増加している。しかし、効果は、浅間大社周辺に限定されており、今後はその効果を周辺に波及させることが課題となっている。
- ・平成24年度に実施した調査によると、中心市街地には、公園や水辺等の休憩施設が足りないと感じている人が多い。
- ・中心市街地には、浅間大社内の湧玉池等の湧水ポイントや湧水が流れる水路が多くあるが、その多くは市民の目に触れない形になっておりまちづくりに活かしていない。
- ・一方、平成25年6月22日「富士山」が世界文化遺産に登録され、その構成資産である「富士山本宮浅間大社」が再度注目を浴びている。
- ・「史跡富士山」整備基本計画の中で、浅間大社周辺の世界遺産関連施設をつなぐまち歩きルート案が示されており、その整備が必要となっている。
- ・浅間大社境内地の中をながれる普通河川洪沢堀の護岸が整備されていない。
- ・浅間大社やその周辺にある関連施設を適切に保存していくことや、それらをつなぐ動線の確保、周辺の景観を世界遺産にふさわしく整備していく事が新たな課題となっている。

課題

①「歩いて楽しいまち」を創出するための拠点整備・空間整備

富士宮駅と浅間大社方面との間の連続した歩行者空間整備は形成され、安全な歩行者空間の整備は進んでいるが、まちなかを回遊する歩行者が少ない。したがって、浅間大社を中心としたまちなか歩きの回遊性を向上させ、さらなる集客力向上のための拠点施設を整備し、これと合わせ、歩いて楽しくなるような空間整備が必要である。

②湧水を活かしたまちづくり

富士宮市の中心市街地には、浅間大社内にある湧玉池、湧玉池を起点とした一級河川神田川を始め、色々な場所で富士山からの湧水が湧き、流れている。湧水が豊富なまちである。しかし、湧水は市民の目に触れない形で流れてしまっている事が多く、湧水をまちづくりに活かされていない。

③「世界文化遺産のある歴史と文化を活かしたまち」を創出するための富士山信仰関連の保全・整備が課題

世界文化遺産の構成資産である「富士山本宮浅間大社」の境内地の保全や浅間大社周辺の景観形成、関連施設への動線の整備が課題。

将来ビジョン(中長期)

快適でにぎわいとふれあいのあるまち

コミュニティ豊かな安全・安心なまちづくり(第4次富士宮市総合計画)

目標を定量化する指標

| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | | 目標値 | |
|------------|---------|---------------------------------------|---|------|------|------|------|
| | | | | | 基準年度 | | 目標年度 |
| 中心市街地の歩行者数 | 人/8h/2日 | 浅間大社付近3か所における歩行者交通量(平日・休日各1日)の合計 | 歩行空間や立ち寄り拠点の整備により、減少が予想されている歩行者交通量を、現状に維持する。 | 4803 | H25 | 4800 | H28 |
| 来訪者の滞留時間 | 分/日 | 本区域を訪れている人たちの区域内滞留時間 | 世界遺産を活かした歩いて楽しいまちを整備することで、本区域内を訪れた人たちの滞留時間が増加する。 | 82 | H25 | 93 | H28 |
| 市民満足度 | % | 市民アンケートによる満足度調査により、「満足」「ほぼ満足」と答えた人の割合 | 本事業により、地区住民・事業者・来訪者の「歩いて楽しいまち・世界遺産にふさわしいまち」についての満足度が向上する。 | 28 | H25 | 34 | H28 |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|---|
| <p>・「歩いて楽しいまち」を創出する。 区域内に多数ある富士山の湧水の湧出地点や富士山信仰関連施設を繋ぐ歩行者空間を整備しネットワーク化する。 まち歩きの出発点になるよう、公園を整備する。</p> | <p>■基幹事業 ・道路事業：一般市道宮町11号線 ・道路事業：一般市道大宮町23号線 ・道路事業：1級市道神立立宿線 ・公園事業：(仮称)浅間町 ○関連事業 ・JR西富士宮駅バリアフリー化事業 ・一般市道宮町5号線改良事業 ・神田川ふれあい広場整備事業</p> |
| <p>・湧水を活かしたまちづくりを行う。 富士山の湧水を活かした公園を整備する。 湧水の湧出地点をつなぐ動線を整備する。</p> | <p>■基幹事業 ・道路事業：一般市道宮町11号線 ・道路事業：一般市道大宮町23号線 ・公園事業：(仮称)浅間町公園 ○関連事業 ・神田川ふれあい広場整備事業</p> |
| <p>・「世界遺産のある歴史と文化を活かしたまち」を創出するため富士山信仰関連施設の保全や整備を行う。 「富士山」の構成資産である「富士山本宮浅間大社」周辺の施設整備や景観形成を行う。 浅間大社から関連施設をつなぐ動線の整備を行う。</p> | <p>■基幹事業 ・道路事業：1級市道神立立宿線 □提案事業 ・地域創造支援：浅間大社前景観形成事業 ○関連事業 ・世界遺産センター建設事業 ・観光駐車場整備事業 ・神田川ふれあい広場整備事業</p> |
| <p>その他</p> | |

都市再生整備計画の区域

富士宮駅周辺地区(静岡県富士宮市)

面積

276 ha

区域

光町、朝日町、宝町、宮町、元城町、大宮町、中央町、東町、西町、錦町、淀川町、貴船町、中里東町、泉町
阿幸地町、若の宮町、豊町、神田川町、浅間町、田中町、源道寺町、弓沢町の一部

